



「こんな教員になりたい」 という原点を 忘れない

中学校 教諭



大阪市立天王寺中学校
大迫 裕也 教諭 採用9年目

■ 教職をめざした「きっかけ」は……

中学生の頃、学校の先生の言動・行動一つで、子どもたちの人生が大きく変わると感じた瞬間がありました。そのとき、自分が学校の先生になって、1人でも多くの子どもたちに喜びを与えることができるようになりたいと思いました。その夢に向かってひたむきに努力し、今、学校の先生になることができています。自分の夢を応援してくださった先生のおられる大阪で、一緒に子どもたちの夢を応援したいと大阪市の教員をめざしました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

子どもたちの成長を感じとることができる、ということが一番のやりがいだと感じています。大きく成長していく姿を見て、子どもたちが大きくなっていく姿って、こんなに嬉しいものなのだなと、日々、感じています。また、何かできるようになったという喜びを子どもたちや保護者の方々、教職員で分かち合えることも、教員の魅力であり、やりがいです。「できてよかった」と子どもたちが「ニコッ」とする顔を見るために、頑張っています。

■ 子どもたちと向き合うために……

教員は魅力のある仕事ですが、悩みはいつもつきない仕事でもあると感じています。「この対応でよかったのかな」「あのとき、こうした方がよかったのかな」と思うこともあります。でも悩んだときは、先輩の先生方に相談しアドバイスをいただいたり、自分の考えも伝えながら、一緒に取り組ませていただいたりしています。

何気ない会話も含め、日々、しっかりコミュニケーションをとり、悩んだときは、1人で悩まずに、教職員で協力・連携し、チームで対応することが一番大切だと実感しています。



■ 教員になるまでに……

教員になりたいと強く思っていたので、教員になると最も仕事として多く取り組むことになる「授業」についてより学ぶことができるように塾のアルバイトをしました。さまざまな年代の子どもたちとの経験は、今、とても活かされています。

また、子どもたちとのコミュニケーションにつながるように、さまざまな経験を積んでおくことも大切だと思っていました。幅広く興味を持って、いろいろなことに取り組むことが、コミュニケーションの種となり、良い人間関係をつくるきっかけになると感じています。

■ 気持ちを切り替えるために……

プライベートでは、家族との時間をつくることを大切にしています。今、サッカー部の顧問を担当していますが、複数名の顧問で協力し、休みの日もしっかりと設けることができるようにしています。

家で映画を見たり、家族で旅行に行ったりなど、心も身体もリフレッシュし、十分に気持ちを切り替えることで、元気に仕事に臨むことができるように心がけています。



これから教員をめざす方へ……

「こんな教育がしたい」「こんな教員になりたい」という原点の部分を忘れないことが、教員生活を送っていく中で大切と感じています。何か困ったとき、つらいときの自分を奮い立たせる原動力になってくると思います。

教員も子どもたちも、答えのない課題に出あうことがたくさんあります。自身の原動力を忘れず、困難を乗り越えられる力をつけてあげられる、子どもたちと向き合うことができる素敵な先生になってください。

1日のスケジュール

8:30	8:50		15:30	15:45	16:30	16:45	17:00		
出勤	朝の時間	授業開始	休み時間	給食指導	授業 終わり	部活動	打合せ	事務作業	退勤
	1人で授業をしたり、一緒に授業をしたりすることもあります					職員会議や打合せ、行事の準備など		担当している業務の資料づくり、授業の準備など	

